

修士学位論文の提出について

修士学位論文の提出について以下のとおりお知らせします。

（医学研究科（人間）ホームのダウンロードに様式を掲載しています。例年、旧年度の様式を使用して提出する学生がいらっしゃいます。**申請書類提出の際は、必ず11月掲載の今年度版の様式を使用してください。**）

◆「修士学位論文審査願」「論文目録」「研究公正チュートリアルの受講について」の提出
上記の書類を紙媒体で提出してください。

提出締切：2022年12月1日（木）17時（厳守）※締切を過ぎると一切受け取れません

提出場所：人間健康教務掛（医学部C棟1階）

・「論文目録」の参考資料等の欄については、参考資料が特になければ空欄でかまいません。

◆「論文題目」の入力

2022年12月1日（木）17時までに、全学生共通ポータルアンケートシステムから論文題目を入力してください。

◆「修士学位申請書」「修士論文（4部）」の提出

提出締切：2023年1月13日（金）17時（厳守）※締切を過ぎると一切受け取れません

提出場所：人間健康教務掛（医学部C棟1階）

・両面刷りで製本してください。

・表紙が透明の「製本ファイル」（生協でも販売）に綴じて、提出してください。

◆窓口来訪時のお願い

感染症対策のため、以下のとおりご協力をお願いいたします。

・必ず来訪前に検温し、37度5分以上の熱がある場合は、来訪を控えてください。

また、ご自身や同居家族等の体調が優れない（咳や鼻づまり等）場合も、
来訪を控えてください。

・密集を避けるため、研究室単位ではなく、可能な限り個人ごとにお越しください。

・必ずマスクを着用してください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大により、取扱を変えることがあります。

その場合、別途KULASIS 掲示・WEB サイト掲載等により周知します。

令和4年11月 人間健康教務掛

6-9 修士学位論文

6-9-1 修士学位論文審査

修士学位論文審査は、以下の日程にて行う。詳しい日程は5月上旬頃に KULASIS 等に掲示する。

1 2月上旬	学位論文審査願・論文目録提出
1 月中旬	学位論文等の提出
2 月上旬	発表会
3 月 2 3 日	学位授与（2 3 日が休日にあたる場合は変更）

6-9-2 修士学位論文の様式

修士学位論文は以下の様式に沿って、作成すること。

=====

本専攻修士学位論文の様式を以下のように定める。但し、所属する領域の様式を適用してもよい。

1 様式

1) 和文（原則）

- ・ 指導教員が認める場合は英文も可。

2) 書式（論文内容の要旨・本文共通）

- ・ 用 紙：A 4 判，用紙の向きは縦長，ワープロによる横書き
- ・ 余 白：左右上下とも概ね 2.5 cm
- ・ 活 字：10.5～12p
- ・ 字 体：明朝体（和文），Times New Roman（英文）
- ・ 文字数：1 行 3 5～4 0 字
- ・ 行 数：概ね 3 5 行程度

3) 頁と見出し

- ・ 頁は下欄中央につける。但し、表紙，論文要旨にはつけず，本文の最初の頁より 1 頁とし，参考文献の最後の頁を最終頁とする。
- ・ 付録・資料の頁は本文と区別するため，i，ii，iii を用いる。
- ・ 各章（第 1 章，第 2 章・・・）以下の番号は下記のように見出しをつける。

I.	I.
1.	A.
1)	1.
(1)	a.
①	1)
	a)
	(1)
	(a)

4) 図表

- ・ 図，表および写真は，本文の該当する箇所に（図 1）のように明示し，それぞれ図 1，表 1，写真 1 のように一連の番号を付す。表題および説明文は図表および写真の上または下につける。
- ・ 本文中に挿入する図，表および写真を本文と別頁にする場合は，本文の該当する頁の後または別頁にまとめて綴る。
- ・ 添付の図表（カラー可）は内容が十分把握・判読できるものを用意すること。

2 論文の構成

1) 冊子の構成

- ・ 表紙（様式はホームページからダウンロード）
- ・ 論文要旨（本文の要約，A4判1枚，1000字程度，様式はホームページからダウンロード）
- ・ 目次
- ・ 本文（A4判10～50頁を目安とする。）

2) 本文の構成（例）

- ・ 第1章 序論（研究背景，文献レビュー，目的など）
- ・ 第2章 方法（研究に用いた方法を簡潔にまとめる）
- ・ 第3章 結果（データの記載，解析結果など）
- ・ 第4章 考察（データの解釈，討論，問題点，今後の展望など）
- ・ 第5章 結論（1章から4章のまとめ）
- ・ 謝辞
- ・ 引用文献（参考文献）
- ・ 付録・資料

3 内容等の確認

- ・ 提出前に，必ず指導教員の確認を得ること。
- ・ 論文目録提出後の論文題目の変更は原則として認めない。

4 提出部数及び提出先

1) 修士論文（調査委員用3部提出、社会情勢に応じて部数変更の可能性あり）

- ・ 両面刷りし，表紙が透明の製本ファイル等に綴じる。
（例：コクヨ・レポートメーカー）

2) 提出先

- ・ 医学研究科教務課人間健康教務掛

5 文献の記載様式

1) 科学技術情報流通技術基準方式

- ・ 引用文献は本文の引用箇所の肩に 1), 1) 4) などの番号をつける。反復引用する場合は初出の番号をつける。
- ・ 稿末の文献一覧は通し番号をつけ引用順に記載する。反復引用する場合はすぐ前の引用文献と同じ場合は同上書，同上論文，すぐ前でない引用文献と同じ場合は前掲書，前掲論文と記載する。
- ・ 記載方法の詳細は下記 URL（参考文献の役割と書き方）を参照
<https://jipsti.jst.go.jp/sist/>

2) APA（The American Psychological Association）方式

- ・ 本文中に文献を直接引用する場合は，引用部分を「」でくくり，引用であることを明示する。
- ・ 引用文献は文中の引用部分の後ろに（ ）を付し，その中に著者名の姓と発行年次を表示する。
- ・ 同一著者に同一発行年次の文献が複数ある場合は，発行年次の後に小文字のアルファベット a, b, c を順に表示する。
- ・ 文献リストの記載順は筆頭著者の姓のアルファベット順とし，著者全員の姓名を表示する。外国人の場合は，姓, 名の順に記載する。
- ・ 同一著者の文献が複数ある場合は，発行年次の早い順に記載する。
- ・ 記載方法の詳細は下記文献を参照

『APA 論文作成マニュアル（第2版）』著：アメリカ心理学会（APA）

訳：前田 樹海／江藤 裕之／田中 建彦，発行 2011 年，3,990 円，ISBN978-4-260-01220-1

先端看護科学コース

(Advanced Nursing Sciences)

講座	分野	担当教員
先端基盤看護科学	生活環境看護学	若村 智子
	在宅医療・認知症学	木下 彩栄
	ビッグデータ医科学	奥野 恭史
	看護倫理学	竹之内 沙弥香
先端中核看護科学	生活習慣病看護学	任 和子
	クリティカルケア看護学	榊 由里
		西山 知佳
	精神看護学	－
	緩和ケア看護学	田村 恵子
		恒藤 暁
		白井 由紀
		ANAGNOSTOU, Despoina
先端広域看護科学	小児看護学	－
	周産期疫学	古田 真里枝
		常田 裕子
		大滝 千文
	地域健康創造看護学	塩見 美抄
		細川 陸也

講座	分野	担当教員
	高度実践助産学系	古田 真里枝
		常田 裕子
		大滝 千文

講座	分野	担当教員
高度実践研究者養成プログラム 専門看護師課程 (CNS)	慢性疾患看護学	任 和子
	クリティカルケア看護学	榊 由里
	精神看護学	－
	がん看護学	田村 恵子

先端リハビリテーション科学コース
(Advanced Rehabilitation Sciences)

講座	分野	担当教員
先端理学療法学	生体構造学	山田 重人
	運動機能解析学	黒木 裕士
		青山 朋樹
		大畑 光司
		前田 祐子
	運動機能開発学	市橋 則明
		建内 宏重
		PATAKY, Todd
先端作業療法学	生体機能学	林 悠
	臨床認知神経科学	十一 元三
		梁 楠
		入江 啓輔
	脳機能リハビリテーション学	稲富 宏之
		谷向 仁
		田畑 阿美

総合医療科学コース
(Multidisciplinary Medical Sciences)

講座	分野	担当教員
基礎系医療科学	分子生命基礎医療科学	岡 昌吾
		野中 元裕
	病因応答基礎医療科学	伊吹 謙太郎
	形態形成基礎医療科学	高桑 徹也
臨床系医療科学	臨床ゲノム解析学	徳野 治
	臨床研究開発学	足立 壮一
	臨床画像検査解析学	藤井 康友
	バイオメディカルデータサイエンス	鎌田 真由美
理工系医療科学	先端医療画像解析学	杉本 直三
	先端医療機器システム学	下野 昌宣
	智能医工学	中尾 恵
		笹山 哲
	医学物理学	中村 光宏